

○ 平成 28 年度 第 6 回 『こどもの消化器疾患』 ○

講 師：広島市民病院 小児外科 主任部長 秋山 卓士 先生

実施日時：平成 28 年 11 月 2 日（水） 14：00～16：00

会 場：南区民文化センター

対 象 者：消化器疾患の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：15 名（家族 13 名、患者会 2 名）こども 2 名

担当：広島市

○講演内容

- ① 胆汁の流れが悪くなる病気
- ② 先天性胆道拡張症について
- ③ 胆道閉鎖症について
- ④ 胆道に病気があるこどもの生活について
- ⑤ 肝臓移植について
- ⑥ 予後や今後について



○ アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「術後の合併症や日常生活に気をつけることなど知識を得たかった」

「前回参加しようと思って出来なかったので」

「同じ病気の子どもを持つ方と交流できればと思った」

<参加された方の感想>

「胆道閉鎖について色々なことを再認識できた」「また参加したい」

「同じ病気のお子さんをお持ちの方と話が出来て、色々分かり合えて良かった」

○ 相談員からひとこと

3年ぶりとなる胆道疾患の交流会を開催しました。年齢が近かったり、移植後であったりと共通点のあるご家族同士色々なお話をしていただくことが出来ました。講演では参加者の疾患に沿って病態や治療法、日常生活まで幅広く説明していただきました。

交流会では患者会の方に沖縄土産のちんすこうを振舞っていただき、リラックスした雰囲気が進みました。参加のご家族には普段疑問に思っておられることや、気になっていることを先生に近い距離で訊ねて頂けました。お話中、何度も「うちもです」「同じです」という声が聞かれ、共感される場面が見られました。他のご家族と思いを共有していただくことが出来、それだけでも会を催した甲斐がありました。

